

【新刊のご案内】

しべちやの歴史を歩く

橋本 勲 著

4月20日発売予定 四六版 定価1,200円+税

発行：藤田印刷エクセレントブックス

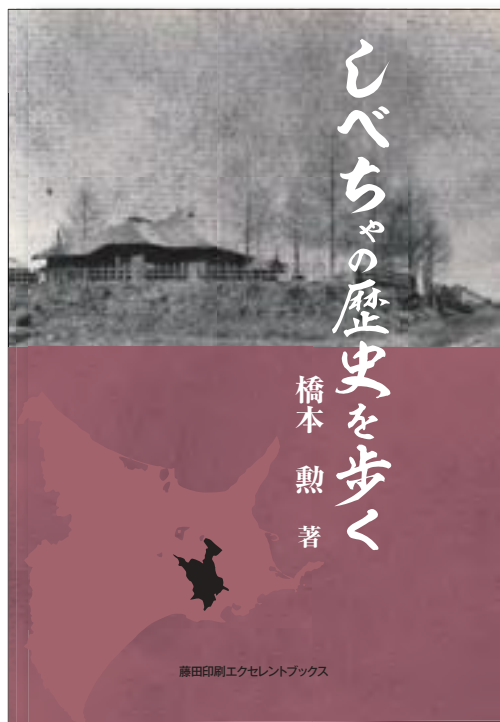
明治30年ころから集落形成

まず基本になる北海道の郡、町、村名がどのように設定されたかを整理すると、明治新政府は明治2年7月、民部省内に「開拓使」をおき、その年の8月、蝦夷地を北海道に改め11国86郡に分割した。

また、10月には根室開拓使出張所を設置し、その管轄区域を根室、釧路、千島、北見の4国21郡と定めている。明治5年3月には、その区域内に始めて村名を定め、同8年3月には各町村名を仮名から本字に改めている。

その当時、釧路川沿いの熊牛村、塘路村、虹別村と弟子屈村、屈斜路村は一つの区域として釧路国川上郡に属していたが、明治18年7月、この五村を統括する熊牛村外四カ村戸長役場が設置され行政事務が始まった。

(はじめに)より



第1部 歴史編

クマ・ウシ及び熊牛村、シベツチャ及び標茶村、集落形成の推移

第2部 市街地の地名編

市街地の発達、常盤、川上、開運、旭・富士、桜、麻生、平和、解散した鉄道町内会、新栄・新富町内会

第3部 地域の地名編

標茶市街地周辺、小集落の形成、ルルラン、多和、弥栄、南標茶・北標茶、厚生、栄、磯分内、西熊牛原野、オソツベツ、五十石、沼幌、久著呂、コッタロ、シラルトロエトロ、茅沼、虹別、太田村、茶安別、パイロットフォレスト、阿歴内、塘路

●著者略歴

橋本 勲 (はしもと・いさお)

1932年旧樺太生まれ。47年、家族と共に標茶町磯分内に移住。52年標茶高校卒業後、標茶町開拓農協に勤務。58年から標茶町役場に奉職。農業委員会事務局長、経済部農林課長、社会教育課長、総務部長を歴任し93年に定年退職。2000年～06年まで町史編集委員を務める。

貴店番線

発行：藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546

月
日

しべちやの歴史を歩く

橋本 勲 著

冊

定価1,200円+税 ISBN 978-4-86538-093-4

藤田印刷エクセレントブックス 〒085-0042 釧路市若草町3番1号 TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで